

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2020年 4月30日

都道府県知事 殿

病院名 京都市立医科大学附属北部医療センター
開設者 京都府公立大学法人 理事長 金田章裕 印

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第9条に基づき、① 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

① 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー1ーからー5ーまで及び別紙1については、臨床研修プログラム検索サイトの画面を印刷したもの（不足する項目は適宜加筆すること）等必要な項目がわかるものを代わりに添付していただいても構いません。
- ・項目番号1から25までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から36までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 031056

臨床研修病院の名称：京都市立医科大学附属北部医療センター

記入日：西暦 2020年 4月30日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	031056		臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 京都市立医科大学附属 北部医療センター 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ デグチ 氏名(姓) 出口	ヒロキ (名) 博行	役職 (内線 6327) (直通電話 (0772) 46 — 3371) e-mail: h-deguchi76@mail.pref.kyoto.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)	フリガナ キョウトフツイカガクケンリョクセンター 京都市立医科大学附属北部医療センター			
2. 病院の所在地及び二次医療圏の名称 (基幹型、協力型記入)	〒 [6][2][9][2][2][6][1] (京都府) 与謝郡与謝野町字男山481 電話：(0772) 46 — 3371 FAX：(0772) 46 — 3371 二次医療圏 の名称：丹後医療圏			
3. 病院の開設者の氏名(法人の名称) (基幹型、協力型記入)	フリガナ キョウトコウリツカガクケンジン リンチョウ キンダアキヒロ 京都市立大学法人 理事長 金田章裕			
4. 病院の開設者の住所(法人の主たる事務所の所在地) (基幹型、協力型記入)	〒 [6][0][2][0][8][5][7] (京都府) 京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410番地 電話：(075) 212 — 5406 FAX：(075) 212 — 5459			
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型、協力型記入)	フリガナ ナカガワ 姓 中 川	マサノリ 名 正 法		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙1に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。			
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。			
8. 病院のホームページアドレス (基幹型、協力型記入)	https://nmc.kpu-m.ac.jp/			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー2ー

病院施設番号: 031056

臨床研修病院の名称: 京都府立医科大学附属北部医療センター

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 (基幹型・協力型記入)		常勤: 68名、非常勤（常勤換算）: 1名 計（常勤換算）: 69名、: 医療法による医師の標準員数: 26.1名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 (基幹型・協力型記入)	救急病院認定の告示	告示年月日: 西暦1980年 8月 5日、告示番号: 第 693 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 ② 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	① 有 () m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数: 12,936 件（うち診療時間外: 8,649 件） 1日平均件数: 35.4 件（うち診療時間外: 23.7 件） 救急車取扱件数: 2,280 件（うち診療時間外: 1,372 件）
	診療時間外の勤務体制	医師: 4名、看護師及び准看護師: 2名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 ① 有 0. 無 外科系 ① 有 0. 無 小児科 ① 有 0. 無 その他 ()
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） (基幹型・協力型記入)		1. 一般: 276 床、2. 精神: 床、3. 感染症: 4 床 4. 結核: 15 床、5. 療養: 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 (基幹型・協力型記入)		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） (基幹型・協力型記入)		1. 一般: 12.3 日、2. 精神: 0.0 日、3. 感染症: 0.0 日 4. 結核: 96.5 日、5. 療養: 0.0 日
14. 前年度の分娩件数 (基幹型・協力型記入)		正常分娩件数: 311 件、異常分娩件数: 70 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 (基幹型・協力型記入)	開催回数	前年度実績: 2 回、今年度見込: 2 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績: 2 件、今年度見込: 2 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ① 有 0. 無 () 大学、() 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 (基幹型・協力型記入)	研修医の宿舎	① 有（単身用: 10 戸、世帯用: 戸） 0. 無（住宅手当: 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	① 有 (1 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 (基幹型・協力型記入)	図書室の広さ	(73.8) m ²
	医学図書数	国内図書: 1,361 冊、国外図書: 792 冊
	医学雑誌数	国内雑誌: 264 種類、国外雑誌: 107 種類
	図書室の利用可能時間	00:00 ~ 24:00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース ① 有 0. 無、教育用コンテンツ (1. 有 0. 無)、 その他 ()
	医学教育用機材の整備状況	利用可能時間 (00:00 ~ 24:00) 24時間表記 医学教育用シミュレーター ① 有 0. 無、 その他 ()

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー3ー

病院施設番号： 031056

臨床研修病院の名称：京都府立医科大学附属北部医療センター

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職 診療に関する諸記録の管理方法 診療録の保存期間 診療録の保存方法	フリガナ 氏名(姓) 中尾 (名) 修志 役職 医療サービス課長 ① 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:) (10) 年間保存 1. 文書 ② 電子媒体 その他(具体的に:)											
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況 安全管理部門の設置状況 患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	① 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。 職員: 専任 (1) 名、兼任 (19) 名 主な活動内容: 例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 患者相談窓口の責任者の氏名等: フリガナ 氏名(姓) 中尾 (名) 修志 役職 対応時間 (9:00 ~ 17:00) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無: ① 有 0. 無 ① 有 0. 無 指針の主な内容: 医療安全管理指針及びマニュアル 年 (12) 回 活動の主な内容: 毎月の医療事故の報告及び分析 年 (3) 回 研修の主な内容: みんなで考えようチームステップス、チームステップスへの道~まずは第1歩安全性の高いコミュニケーションを考えましょ~、大学病院における医療安全 医療機関内における事故報告等の整備: ① 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: 医療事故報告された内容を基に要因分析し、医療安全管理マニュアルの整備行う。											
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)	修了: 3名 中断: 0名												
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>5名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	4名	3名	7名	2 年	5名	3名	3名
	前々年度	前年度	当該年度										
1 年	4名	3名	7名										
2 年	5名	3名	3名										
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出 患者数から算出	許可病床数 (295) 床 ÷ 10 = (3) 名 年間入院患者数 (6,352) 人 ÷ 100 = (63.52) 名											
23. 当該病院からの医師派遣実績 ※募集定員を変更する場合は、別紙5も提出すること。	○ 派遣実績 募集定員加算 名 名 ※ 募集定員加算の人数は、報告・届出年度の翌年度の募集定員を算出する際に用いる医師派遣等の加算人数を記入すること。(記入要領25を参照) ○地域医療対策協議会等の意向の把握 (有 無) ※ 該当する方を○で囲むこと。												

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 4 ー

病院施設番号： 031056

臨床研修病院の名称：京都府立医科大学附属北部医療センター

項目 25 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
24. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士： 3名 (常勤： 1名、非常勤： 2名) 2. 作業療法士： 2名 (常勤： 2名、非常勤： 名) 3. 臨床心理技術者： 1名 (常勤： 1名、非常勤： 名) 9. その他の精神科技術職員： _____ 名 (常勤： 名、非常勤： 名)
25. 第三者評価の受審状況 (基幹型記入)		1. 有 (評価実施機関名： _____ (年 月 日)) ☒ 0. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
26. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称：京都府立医科大学附属北部医療センタースタンダードプログラム プログラム番号： 031056501
27. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次：ベーシックプログラムと合わせて 3 名 2 年次：ベーシックプログラムと合わせて 3 名
28. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ デグチ ヒロキ 氏名 (姓) _____ (名) _____ 出 口 博 行 所属 教育研究推進室 役職 副室長 電話：(0772) 46 — 3371 FAX：(0772) 46 — 3371 e-mail：h-deguchi76@mail.pref.kyoto.jp URL：https://nmc.kpu-m.ac.jp/
	資料請求先	住所 〒629-2261 (京都府) 与謝郡与謝野町字男山481 担当部門 担当者氏名 フリガナ デグチ ヒロキ 姓 _____ 名 _____ 出 口 博 行 電話：(0772) 46 — 3371 FAX：(0772) 46 — 3371 e-mail：h-deguchi76@mail.pref.kyoto.jp URL：https://nmc.kpu-m.ac.jp/
	募集方法	☒ 1. 公募 2. その他 (具体的に： _____)
	応募必要書類 (複数選択可)	☒ 1. 履歴書、 ☒ 2. 卒業 (見込み) 証明書、 ☒ 3. 成績証明書、 ☒ 4. 健康診断書、5. その他 (具体的に： _____)
	選考方法 (複数選択可)	☒ 1. 面接 2. 筆記試験 その他 (具体的に： _____)
	募集及び選考の時期	募集時期： _____ 月 _____ 日頃から ※未定 選考時期： _____ 月 _____ 日頃から ※7～8月
	マッチング利用の有無	☒ 1. 有 ☐ 0. 無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー5ー

病院施設番号: 031056

臨床研修病院の名称: 京都府立医科大学附属北部医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

29. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)		概要: * 別紙3に記入 (作成年月日: 西暦2017年 5月 8日)	
30. プログラム責任者の氏名等 (副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等) (基幹型記入) * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入		(プログラム責任者) フガナ 杉7イ トシヤ 氏名(姓) 落 合 氏名(名) 登志哉 所属 役職 准教授 副病院長 (副プログラム責任者) 1. 有(名) ① 無	
31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等 (基幹型記入) すべての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。		* 別紙4に記入	
32. インターネットを用いた評価システム		1. 有(・EPOC ・その他()) ① 無	
33. 研修開始時期 (基幹型・地域密着型記入)		西暦2021年4月1日	
34. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)	処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ② 病院独自の処遇とする。	
	常勤・非常勤の別	1. 常勤 ② 非常勤	
	研修手当	一年次の支給額(税込み) 基本手当/月(417,750円) 賞与/年(0円)	二年次の支給額(税込み) 基本手当/月(417,750円) 賞与/年(0円)
	勤務時間	時間外手当: ① 有 0. 無 休日手当: ① 有 0. 無 基本的な勤務時間(8:30~17:15) 24時間表記 休憩時間(12:00~13:00) 時間外勤務の有無: ① 有 0. 無	
	休暇	有給休暇(1年次:10日、2年次:11日) 夏季休暇 ① 有 0. 無 年末年始 ① 有 0. 無 その他休暇(具体的に: 病氣、産前産後、忌引ほか)	
	当直	回数(約4回/月)	
	研修医の宿舎(再掲)	① 有(単身用:10戸、世帯用:0戸) 0. 無(住宅手当: 円) 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室(再掲)	① 有(1 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
	社会保険・労働保険	公的医療保険(協会けんぽ) 公的年金保険(厚生年金) 労働者災害補償保険法の適用 ① 有 0. 無、 国家・地方公務員災害補償法の適用(1. 有 ① 無) 雇用保険 ① 有 0. 無	
	健康管理	健康診断(年2回) その他(小児系感染症、B型肝炎、結核、インフルエンザ予防接種)	
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入 ① する 0. しない 個人加入(1. 強制 ① 任意)	
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加 ① 可 0. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無: 1. 有 ① 無	
35. 研修医手帳(基幹型記入)		① 有 0. 無	
36. 連携状況(基幹型記入)		* 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。

2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。

3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。

4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。

5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。

6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。

7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。

8 項目番号1から25までについては、年次報告において記入すること。

9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入すること。

10 ※欄は、記入しないこと。

11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。

12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。

13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。

14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

(1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。

(2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。

(3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

$$\begin{aligned} & \text{※ 換算式} \\ & \frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)} \end{aligned}$$

(4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。

(5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)} + \text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

(6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない。)

15 「救急医療の提供の実績」欄について

(1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。

(2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。

(3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。

(4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、すべての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。

(5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。

(6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。

(7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。

19 「臨床病理検討会(CPC)の実施状況」欄について

(1)「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

こと。

- (2)「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他 ()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1)「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1)「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2)「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3)「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（ $\div 10$ ）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（ $\div 100$ ）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別業に記入すること。
- 28 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。
- 29 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 30 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1)「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 31 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有

無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

(5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

(6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

(7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

(8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

(9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和元年度開催回数 1 回）

病院施設番号：031056 臨床研修病院の名称：京都府立医大附属北部医療センター

氏名		所属	役職	備考
フリガナ 中川 名 正法	フリガナ 中川 名 正法	京都府立医科大学附属北部医療センター	病院長	研修管理委員会委員長 研修実施責任者
姓 中川 名 正法	姓 中川 名 正法		副病院長	指導医
フリガナ 沖原 名 宏治	フリガナ 沖原 名 宏治	京都府立医科大学附属北部医療センター	副病院長	プログラム責任者 指導医
姓 沖原 名 宏治	姓 沖原 名 宏治		事務部長	
フリガナ 落合 名 登志哉	フリガナ 落合 名 登志哉	京都府立医科大学附属北部医療センター	副病院長兼看護部長	
姓 落合 名 登志哉	姓 落合 名 登志哉		病院長	研修実施責任者
フリガナ 廣瀬 名 秀樹	フリガナ 廣瀬 名 秀樹	京都府立医科大学附属北部医療センター	副病院長	研修実施責任者
姓 廣瀬 名 秀樹	姓 廣瀬 名 秀樹		病院長	研修実施責任者
フリガナ 橋元 名 春美	フリガナ 橋元 名 春美	京都府立医科大学附属病院	病院長	研修実施責任者
姓 橋元 名 春美	姓 橋元 名 春美		病院長	研修実施責任者
フリガナ 夜久 名 均	フリガナ 夜久 名 均	もみじヶ丘病院	病院長	研修実施責任者
姓 夜久 名 均	姓 夜久 名 均		病院長	研修実施責任者
フリガナ 芝 名 伸太郎	フリガナ 芝 名 伸太郎	京丹後市立久美浜病院	病院長	研修実施責任者
姓 芝 名 伸太郎	姓 芝 名 伸太郎		病院長	研修実施責任者
フリガナ 赤木 名 重典	フリガナ 赤木 名 重典	京丹後市立弥栄病院	病院長	研修実施責任者
姓 赤木 名 重典	姓 赤木 名 重典		病院長	研修実施責任者
フリガナ 神谷 名 匡昭	フリガナ 神谷 名 匡昭	市立福知山市民病院	病院長	研修実施責任者
姓 神谷 名 匡昭	姓 神谷 名 匡昭		病院長	研修実施責任者
フリガナ 香川 名 高道	フリガナ 香川 名 高道	綾部市立病院	病院長	研修実施責任者
姓 香川 名 高道	姓 香川 名 高道		病院長	研修実施責任者
フリガナ 高升 名 正彦	フリガナ 高升 名 正彦	医療法人社団洛和会 洛和会丸太町病院	院長	研修実施責任者
姓 高升 名 正彦	姓 高升 名 正彦		院長	研修実施責任者
フリガナ 細川 名 豊史	フリガナ 細川 名 豊史	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター	院長	研修実施責任者
姓 細川 名 豊史	姓 細川 名 豊史		院長	研修実施責任者
フリガナ 法里 名 高	フリガナ 法里 名 高	国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院	病院長	研修実施責任者
姓 法里 名 高	姓 法里 名 高		施設長	研修実施責任者
フリガナ 布施 名 春樹	フリガナ 布施 名 春樹	リハ・ヴィラなぎさ苑	施設長	研修実施責任者
姓 布施 名 春樹	姓 布施 名 春樹		理事長	研修実施責任者
フリガナ 益田 名 順一	フリガナ 益田 名 順一	社会福祉法人 北星会 今出クリニック	理事長	研修実施責任者
姓 益田 名 順一	姓 益田 名 順一		所長	研修実施責任者
フリガナ 今出 名 陽一朗	フリガナ 今出 名 陽一朗	京都府丹後保健所	所長	研修実施責任者
姓 今出 名 陽一朗	姓 今出 名 陽一朗		所長	研修実施責任者
フリガナ 重見 名 博子	フリガナ 重見 名 博子	伊根町国民健康保険本庄診療所	所長	研修実施責任者
姓 重見 名 博子	姓 重見 名 博子		院長	研修実施責任者
フリガナ ミヅノ 名 道弘	フリガナ ミヅノ 名 道弘	西原医院	院長	研修実施責任者
姓 宮地 名 道弘	姓 宮地 名 道弘		理事長	研修実施責任者
フリガナ 西原 名 寛	フリガナ 西原 名 寛	山根医院	理事長	研修実施責任者
姓 西原 名 寛	姓 西原 名 寛		管理者	研修実施責任者
フリガナ 山根 名 行雄	フリガナ 山根 名 行雄	宮津市由良診療所	管理者	研修実施責任者
姓 山根 名 行雄	姓 山根 名 行雄		理事長	研修実施責任者
フリガナ 堀川 名 義治	フリガナ 堀川 名 義治	須川医院	理事長	研修実施責任者
姓 堀川 名 義治	姓 堀川 名 義治		院長	研修実施責任者
フリガナ 須川 名 典亮	フリガナ 須川 名 典亮	やまぞえこどもクリニック	院長	研修実施責任者
姓 須川 名 典亮	姓 須川 名 典亮		管理者	研修実施責任者
フリガナ ヤマゾエ 名 一郎	フリガナ ヤマゾエ 名 一郎	宮津訪問看護ステーション	管理者	研修実施責任者
姓 山添 名 一郎	姓 山添 名 一郎		管理者	研修実施責任者
フリガナ シゲキ 名 シゲミ	フリガナ シゲキ 名 シゲミ	宮津訪問看護ステーション	管理者	研修実施責任者
姓 下垣 名 シゲミ	姓 下垣 名 シゲミ		代表取締役	研修実施責任者
フリガナ 三宅 名 佳代子	フリガナ 三宅 名 佳代子	訪問看護ステーション さくら	代表取締役	研修実施責任者
姓 三宅 名 佳代子	姓 三宅 名 佳代子		消防長	外部委員
フリガナ マサエ 名 マサエ	フリガナ マサエ 名 マサエ	宮津与謝消防組合消防本部	消防長	外部委員
姓 伏木 名 マサエ	姓 伏木 名 マサエ			
フリガナ ユキ 名 シン	フリガナ ユキ 名 シン			
姓 結城 名 シン	姓 結城 名 シン			

フリガナ いり		ヨシ	いとうクリニック	院長	研修実施責任者
姓	伊藤	名			
フリガナ いし		ヒデノリ	伊根町国民健康保険伊根診療所	所長	研修実施責任者
姓	石野	名			
フリガナ 小値		トキ	小値賀町国民健康保険診療所	所長	研修実施責任者
姓	田中	名			
フリガナ 特定医療法人		沖縄徳州会	特定医療法人沖縄徳州会 宮古島徳州会病院	院長	研修実施責任者
姓	斎藤	名			
フリガナ 医療法人		沖縄徳州会	医療法人沖縄徳州会 徳州会伊良部島診療所	院長	研修実施責任者
姓	星野	名			
フリガナ 与謝野町立		国民健康保険診療所	与謝野町立国民健康保険診療所	所長	研修実施責任者
姓	矢野	名			
フリガナ 伊根町訪問看護		ステーション	伊根町訪問看護ステーション	係長	研修実施責任者
姓	藤原	名			
フリガナ 特別養護老人ホーム		長寿苑	特別養護老人ホーム長寿苑	施設長	研修実施責任者
姓	長谷川	名			

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：京都府立医科大学附属北部医療センター 病院施設番号：031056																		
区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 (部 門)	小 児 科	産 婦 人 科	又 は		精 神 科	病院で定めた必修科目の診療科				その他の研修を行う診療科				合 計
							産 科	婦 人 科						眼 科	泌 尿 器 科	耳 鼻 科	皮 膚 科	
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	2,524	0 (12,936)	1,391	6	411	745 (381)	()		0				584	408	238	45	6,352	
年間新外来患者数	1,932	1,487	841	6	696	426			217				283	136	452	252	6,728	
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	185.2 (239)	35.4 (365)	87.8 (239)	6.9 (239)	31.9 (239)	54.8 (239)	()	()	40.7 (239)	()	()	()	69.3 (239)	28.5 (239)	45.2 (239)	32.4 (239)		
平均在院日数	11.0	0.0	11.6	9.8	4.4	8.0			0.0				3.7	7.2	7.5	18.8		
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	21 (9)	1 (0)	12 (5)	4 (1)	3 (1)	5 (1)	()	()	2 (1)	()	()	()	4 (0)	3 (0)	3 (1)	1 (0)	59 (19)	

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合は、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11.の救急医療の実績の前年度の件数及び15.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であること。外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

※ 基幹型指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和2年度分)		臨床研修病院の名称：京都府立医科大学附属北部医療センター 病院施設番号：031056												
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
北部医療センター	内科	7	5	4	4	6	6	5	5	5	3	4	5	4
	救急部門	2	2	3										
	外科	1	1		1	1	1		1	2	2	1	1	2
	小児科				1			1	1	1	1	1	1	1
	産婦人科				1	2	2	1	1	1	2	1	1	1
	皮膚科										1	1		
	麻酔科		1		1	1	1	1	1		1	1	2	1
京都府立医科大学附属病院	地域医療					1	1	1	1					
洛和会丸太町病院	地域医療				1	1					1			
綾部市立病院	地域医療													
	地域医療計				1	2	1	1	1		1			

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別業で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れられる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和3年度分)		臨床研修病院の名称：京都府立医科大学附属北部医療センター													
		病院施設番号：031056													
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週	
北部医療センター	内科	7	6	6	5	6	6	5	6	4	5	5	6	4	
	救急部門	2	2	1											
	外科				2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
	小児科								1	1	1	1	1	1	
	産婦人科	1			1	1	1	1	1		1	1		1	
	皮膚科			1				1	1	1	1	1	1	1	
	麻酔科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	京都府立医科大学附属病院	地域医療						1	1						
洛和会丸太町病院	地域医療				1	1									
綾部市立病院	地域医療								1	1					
	地域医療計				1	1	1	1	1	1					

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別葉で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムの当分の研修医の延人数（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分)		臨床研修病院の名称：京都府立医科大学附属北部医療センター												
		病院施設番号：031056												
基幹型病院名	担当分野	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	11～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週
北部医療センター	内科	7	6	6	5	6	6	5	6	4	5	5	6	4
	救急部門	2	2	1										
	外科				2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	小児科								1	1	1	1	1	1
	産婦人科	1			1	1	1	1	1		1	1		1
	皮膚科			1				1	1	1	1	1	1	1
	麻酔科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
京都府立医科大学附属病院	地域医療						1	1						
洛和会丸太町病院	地域医療				1	1								
綾部市立病院	地域医療								1	1				
	地域医療計				1	1	1	1	1	1				

※ 申請年度の次年度分、次々年度分を別業で作成すること。

※ 「基幹型病院名」欄には、当該病院が申請年度の次年度又は次々年度に研修医を受け入れる基幹型病院の名称及びそのプログラムにおける自病院の担当分野をすべて記入し（自病院が基幹型病院の場合は、自病院を一番上に記入すること）、基幹型病院及び担当分野ごとに各週に受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。

※ 担当分野が選択科目の場合は、受け入れる研修医の延人数は、受け入れ予定の最大数を記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：031056501

病院施設番号：031056

臨床研修病院の名称：京都府立医科大学附属北部医療センター

臨床研修病院群番号：0310563

臨床研修病院群名：京都府立医科大学附属北部医療センター群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	京都府立医科大学附属北部医療センタースタANDARDプログラム			
2. 研修プログラムの特色	京都府立医科大学附属病院群臨床研修プログラムの共通項目を多く取り入れるとともに、当センター独自のプライマリ・ケアに重点を置いた総合診療、救急診療をそれぞれの科目に取り入れ、全人的な初期対応のできる臨床能力を身につけることができる点である。 当プログラムでは、協力型病院及び協力施設に京都府立医科大学附属病院を含む9病院、13診療所、4老人福祉施設、4訪問看護ステーションが選択できる研修内容としている。			
3. 臨床研修の目標の概要	専門性に特化された医師の技術向上の前に、全人的な初期対応ができる臨床能力を身につけるため、当臨床研修プログラムで行動目標、経験目標を定め、研修を行う。			
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 3年以上の研修も可			
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	031056 京都府立医科大学附属北部医療センター	24週	4週 ※4
	救急部門※1	031056 京都府立医科大学附属北部医療センター	12週	
	地域医療	※2	4週	在宅診療 1週
	外科	031056 京都府立医科大学附属北部医療センター	4週	
	小児科	031056 京都府立医科大学附属北部医療センター	4週	
	産婦人科	031056 京都府立医科大学附属北部医療センター	4週	
	精神科	031056 ※3 京都府立医科大学附属北部医療センター	4週	
	整形外科	031056 京都府立医科大学附属北部医療センター	4週	
麻酔科	031056 京都府立医科大学附属北部医療センター	4週		

選択 科目		030483	京都府立医科大学附属病院	40週
		031056	京都府立医科大学附属 北部医療センター	
		031726	久美浜病院	
		031025	弥栄病院	
		031728	福知山市民病院	
		031083	綾部市立病院	
		031038	洛和会丸太町病院	
		030471	舞鶴医療センター	
		030489	舞鶴共済病院	
備考：				
※1 救急部門は4週間のブロック研修を行った後、他科研修中に週1回の研修及び救急部門の研修とみなす休日・夜間の当直を40回以上実施。 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間は4週間				
※2 地域医療は、次の施設から選択できる。（ただし、在宅診療が可能な施設を含むこと。） 西原医院、今出クリニック、伊根町国民健康保険本庄診療所、医療法人山根医院、宮津市由良診療所、医療法人南斗六星会須川医院、やまぞえこどもクリニック、特定医療法人沖縄徳州会宮古島徳州会病院、徳州会伊良部島診療所、小値賀町国民健康保険診療所、伊根町国民健康保険伊根診療所、いとうクリニック、与謝野町立国民健康保険診療所、福知山市民病院 また、保健・医療行政は、次の施設から選択できる。 介護老人保健施設リハ・ヴィラなぎさ苑、特別養護老人ホーム天橋園、京都府丹後保健所、特別養護老人ホーム天橋の郷、特別養護老人ホーム長寿苑、宮津訪問看護ステーション、天の橋立訪問看護ステーション、訪問看護ステーションさくら、伊根町訪問看護ステーション				
※3 精神科は、次の施設から選択できる。 京都府立医科大学附属病院、舞鶴医療センター、福知会もみじヶ丘病院				
※4 一般外来の研修を行う診療科は総合診療科、外科、小児科、地域医療				
※5 院外研修については、2ヶ月を上限とする。				

大学病院の名称：京都府立医科大学附属北部医療センター

臨床研修病院群名：京都府立医科大学附属北部医療センター群

プログラム番号031056501他

(No. 1)

(031727)

プロダラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 3: 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごととの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

大学病院の名称：京都府立医科大学附属北部医療センター

臨床研修病院群名：京都府立医科大学附属北部医療センター群

プログラム番号031056501他

(No. 1)

[illegible]

[illegible]

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号: 031056601

病院施設番号: 031056 大学病院の名称: 京都府立医科大学附属北部医療センター

臨床研修病院群番号: 0310563 臨床研修病院群名: 京都府立医科大学附属北部医療センター群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	京都府立医科大学附属北部医療センターベーシックプログラム																																																														
2. 研修プログラムの特色	京都府立医科大学附属病院群臨床研修プログラムの共通項目を多く取り入れるとともに、当センター独自のプライマリ・ケアに重点を置いた総合診療、救急診療をそれぞれの科目に取り入れ、全人的な初期対応のできる臨床能力を身につけることができる点である。 当プログラムでは、最長52週、京都府立医科大学附属病院をはじめとする協力型病院での研修を選択できる自由度の高い内容としている。 ベーシックコース(※1) 1年次 京都府立医科大学附属病院 2年次 京都府立医科大学附属北部医療センター																																																														
3. 臨床研修の目標の概要	専門性に特化された医師の技術向上の前に、全人的な初期対応ができる臨床能力を身につけるため、当臨床研修プログラムで行動目標、経験目標を定め、研修を行う。																																																														
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)																																																														
備考	3年以上の研修も可。																																																														
5. 臨床研修を行う分野	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>病院施設番号</th> <th>病院又は施設の名称</th> <th>研修期間</th> <th>内一般外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">(記入例) x x 科</td> <td>1234567</td> <td>〇〇 病院</td> <td>〇週</td> <td>〇週</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">必修科目・分野</td> <td>内科</td> <td>031056</td> <td>京都府立医科大学附属北部医療センター</td> <td>24週</td> <td>4週 ※5</td> </tr> <tr> <td>救急部門※2</td> <td>030483</td> <td>京都府立医科大学附属病院</td> <td>12週</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域医療</td> <td>※3</td> <td></td> <td>4週</td> <td>在宅診療 1週</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td></td> <td></td> <td>4週</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td></td> <td></td> <td>4週</td> <td></td> </tr> <tr> <td>産婦人科</td> <td>031056</td> <td>京都府立医科大学附属北部医療センター</td> <td>4週</td> <td></td> </tr> <tr> <td>精神科 ※4</td> <td>030483</td> <td>京都府立医科大学附属病院</td> <td>4週</td> <td></td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td></td> <td></td> <td>4週</td> <td></td> </tr> <tr> <td>麻酔科</td> <td></td> <td></td> <td>4週</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	必修科目・分野	内科	031056	京都府立医科大学附属北部医療センター	24週	4週 ※5	救急部門※2	030483	京都府立医科大学附属病院	12週		地域医療	※3		4週	在宅診療 1週	外科			4週		小児科			4週		産婦人科	031056	京都府立医科大学附属北部医療センター	4週		精神科 ※4	030483	京都府立医科大学附属病院	4週		整形外科			4週		麻酔科			4週	
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来																																																										
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週																																																										
必修科目・分野	内科	031056	京都府立医科大学附属北部医療センター	24週	4週 ※5																																																										
	救急部門※2	030483	京都府立医科大学附属病院	12週																																																											
	地域医療	※3		4週	在宅診療 1週																																																										
	外科			4週																																																											
	小児科			4週																																																											
	産婦人科	031056	京都府立医科大学附属北部医療センター	4週																																																											
	精神科 ※4	030483	京都府立医科大学附属病院	4週																																																											
	整形外科			4週																																																											
	麻酔科			4週																																																											

選択 科目		031056	京都府立医科大学附属 北部医療センター	40週
		030483	京都府立医科大学附属病院	
		031726		
		031025	久美浜病院	
		031728	弥栄病院	
		031083	福知山市民病院	
		031038	綾部市立病院	
		030471	洛和会丸太町病院	
		030489	舞鶴医療センター 舞鶴共済病院	

備考：

※1 ベーシックコース 京都府立医科大学附属北部医療センター臨床研修プログラムの選択科目（4週単位）

※2 救急部門は4週間のブロック研修を行った後、他科研修中に週1回の研修及び救急部門の研修とみなす休日・夜間の当直を40回以上実施。

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間は4週間

※3 地域医療は、次の施設から選択できる。

西原医院、今出クリニック、伊根町国民健康保険本庄診療所、医療法人山根医院、宮津市由良診療所、医療法人南斗六星会須川医院、やまぞえこどもクリニック、特定医療法人沖縄徳州会宮古島徳州会病院、徳州会伊良部島診療所、小値賀町国民健康保険診療所、伊根町国民健康保険伊根診療所、いとうクリニック、与謝野町立国民健康保険診療所、福知山市民病院

また、保健・医療行政は、次の施設から選択できる。

介護老人保健施設リハ・ヴィラなぎさ苑、特別養護老人ホーム天橋園、京都府丹後保健所、特別養護老人ホーム天橋の郷、特別養護老人ホーム長寿苑、宮津訪問看護ステーション、天の橋立訪問看護ステーション、訪問看護ステーションさくら、伊根町訪問看護ステーション

※4 精神科は、次の施設から選択できる。

京都府立医科大学附属病院、舞鶴医療センター、福知会もみじヶ丘病院

※5 一般外来の研修を行う診療科は総合診療科、外科、小児科、地域医療

※6 院外研修については、2ヶ月を上限とする。

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 031056

大学病院の名称: 京都府立医科大学附属北部医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
神経内科	中川 正法	北部医療センター	病院長	42	○	平成20年度京都府立医科大学附属病院 指導医講習会修了、日本認知症学会専 門医、日本神経学会専門医、日本内科学 会認定内科医、日本臨床中医学専門医、 臨床遺伝学専門医・指導医、日本臨床薬 理学会指導医	031056501	3 研修実施責任者
外科	落合 登志哉	北部医療センター	副病院長	34	○	平成22年度第4回京都府立医科大学附属 病院指導医講習会修了、日本外科学会 専門医、日本消化器外科学会専門医、日 本肝臓学会専門医	031056501	1 プログラム責任者 4 指導医
泌尿器科	沖原 宏治	北部医療センター	副病院長	31	×	日本泌尿器学会専門医	031056501	
病理診断科	井村 徹也	北部医療センター	担当部長	28	×	日本病理学会専門医	031056501	
総合診療科	石野 秀岳	北部医療センター	医長	21	○	第99回臨床研修指導医養成講習会修了 (全国自治体病院協議会、全国国民健康 保険診療施設協議会)、日本内科学会 専門医、日本内科学会総合内科専門 医	031056501	4 指導医
総合診療科	横井 大祐	北部医療センター	医長	15	○	第102回臨床研修指導医養成講習会修了 (全国自治体病院協議会、全国国民健康 保険診療施設協議会)、日本内科学会 総合内科専門医	031056501	4 指導医
消化器内科	堅田 和宏	北部医療センター	医長	23	○	平成27年日本医師会第12回指導医のた めの教育ワークショップ修了(京都府医師 会)、日本消化器病学会専門医、日本肝 臓学会専門医、日本内科学会総合内科 専門医	031056501	4 指導医
消化器内科	岡山 哲也	北部医療センター	医長	19	○	平成24年度第4回京都府立医科大学附属 病院指導医講習会修了、日本消化器病 学会専門医	031056501	4 指導医
消化器内科	春里 暁人	北部医療センター	医長	18	×	日本消化器病学会専門医	031056501	
消化器内科	福居 顕文	北部医療センター	医長	17	○	平成28年日本医師会第13回指導医のた めの教育ワークショップ修了(京都府医師 会)、日本消化器病学会専門医	031056501	4 指導医
消化器内科	竹谷 祐栄	北部医療センター	副医長	10	○	平成30年日本医師会第15回指導医のた めの教育ワークショップ修了(京都府医師 会)、日本消化器病学会専門医、日本肝 臓学会専門医	031056501	4 指導医
循環器内科	藤田 博	北部医療センター	医長	30	×	日本内科学会総合内科専門医、日本核 医学学会専門医、日本循環器学会専門 医	031056501	
循環器内科	河崎 貴宣	北部医療センター	医長	12	○	平成30年度第12回京都府立医科大学附 属病院指導医講習会修了、日本循環器 病学会専門医	031056501	4 指導医
循環器内科	波東 大地	北部医療センター	副医長	9	×		031056501	
呼吸器内科	大月 亮三	北部医療センター	医長	33	○	第92回臨床研修指導医養成講習会修 了(全国自治体病院協議会、全国国民健 康保険診療施設協議会)、日本内科学会 専門医、日本神経学会専門医	031056501	4 指導医
神経内科	小泉 崇	北部医療センター	医長	13	×	日本神経学会専門医	031056501	
外科	當麻 敦史	北部医療センター	医長	25	○	第70回臨床研修指導医養成講習会修 了(全国自治体病院協議会、全国国民健 康保険診療施設協議会)、日本外科学会 専門医、検診マンモグラフィ検影	031056501	4 指導医
外科	越野 勝博	北部医療センター	医長	15	○	平成28年度第8回京都府立医科大学附属 病院指導医講習会修了、日本外科学会 専門医	031056501	4 指導医

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 031056

大学病院の名称: 京都府立医科大学附属北部医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外科	竹本 健一	北部医療センター	副医長	13	○	令和元年度第8回京都府立医科大学附属病院指導医講習会修了、日本外科学会専門医	031056501	4 指導医
外科	原田 恭一	北部医療センター	副医長	12	×	日本外科学会専門医	031056501	
整形外科	吉田 隆司	北部医療センター	医長	22	○	平成29年度第11回京都府立医科大学附属病院指導医講習会修了、日本整形外科科学会専門医	031056501	4 指導医
整形外科	細井 邦彦	北部医療センター	副医長	13	×	日本整形外科科学会専門医	031056501	
整形外科	大久保 直輝	北部医療センター	副医長	11	×	日本整形外科科学会専門医	031056501	
整形外科	岡田 直也	北部医療センター	副医長	9	×	日本整形外科科学会専門医	031056501	
整形外科	田中 一哉	北部医療センター	医師	7	×		031056501	
産婦人科	黒星 晴夫	北部医療センター	医長	23	○	平成21年2月、平成29年度京都府立医科大学附属病院指導医講習会修了、日本産婦人科学会専門医	031056501	4 指導医
産婦人科	辻 哲朗	北部医療センター	医長	30	×	日本産婦人科学会専門医	031056501	
産婦人科	青山 幸平	北部医療センター	副医長	8	×	日本産婦人科学会専門医	031056501	
小児科	中島 久和	北部医療センター	医長	25	○	平成23年度第5回京都府立医科大学附属病院指導医講習会修了、日本小児科学会専門医	031056501	4 指導医
小児科	都間 佑介	北部医療センター	副医長	13	×	日本小児科学会専門医	031056501	
小児科	中川 憲夫	北部医療センター	副医長	12	×	日本小児科学会専門医	031056501	
眼科	加藤 雄人	北部医療センター	医長	10	×	日本眼科学会専門医	031056501	
皮膚科	中川 弘己	北部医療センター	医長	7	×	日本皮膚科学会専門医	031056501	
泌尿器科	平岡 健児	北部医療センター	医長	19	×	日本泌尿器学会専門医	031056501	
耳鼻咽喉科	信原 健二	北部医療センター	医長	22	○	平成21年度第3回 京都府立医科大学附属病院指導医講習会修了、日本耳鼻咽喉科学会専門医	031056501	4 指導医
耳鼻咽喉科	水田 康博	北部医療センター	医師	7	×		031056501	

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 031056

大学病院の名称: 京都府立医科大学附属北部医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
精神科	上村 宏	北部医療センター	医長	36	○	平成20年度西日本地区精神科七巻「臨床研修指導医講習会」(第1回)修了。日本精神神経学会指導医、日本老年精神医学会専門医、日本総合病院精神医学会専門医、日本精神保健指導医	031056501	4 指導医
放射線科	佐藤 修	北部医療センター	医長	34	×	放射線診断専門医	031056501	
麻酔科	吉岡 真実	北部医療センター	医長	35	○	平成19年10月「指導医のための教育ワークショップ」修了(福岡県医師会)、日本麻酔科学会指導医	031056501	4 指導医
麻酔科	安本 和正	北部医療センター	副医長	13	×	日本麻酔科学会専門医	031056501	
救急科	渡邊 慎	北部医療センター	医長	10	×	日本救急学会専門医	031056501	

7. 病院群の構成等

別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：京都府立医科大学附属北都医療センター（京都府）

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院				臨床研修協力施設				研修プログラム		
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	定員
京都府	丹後	京都府立医科大学附属北都医療センター (病院施設番号: 031056)		京都府	中丹		舞鶴医療センター (病院施設番号: 030471)		沖縄県	宮古		特定医療法人宮古島病院 (病院施設番号: 033295)		5
				京都府	中丹		舞鶴赤十字病院 (病院施設番号: 030469)		京都府	丹後		特別養護老人ホーム天橋園 (病院施設番号: 034182)		
				京都府	京都・乙訓		京都府立医科大学附属病院 (病院施設番号: 030483)		京都府	丹後		介護老人保健施設リハ・ヴィ ラなぎさ苑 (病院施設番号: 034183)		
				京都府	丹後		京丹後市立弥栄病院 (病院施設番号: 031025)		京都府	丹後		特別養護老人ホーム天橋の郷 (病院施設番号: 056292)		
				京都府	京都・乙訓 医療圏		洛和会みまじヶ丘病院 (病院施設番号: 031038)		京都府	丹後		京都府丹後保健所 (病院施設番号: 056568)		
				京都府	中丹		綾部市立病院 (病院施設番号: 031083)		京都府	丹後		伊根町国民健康保険本庄診療 所 (病院施設番号: 066271)		
				京都府	丹後		京丹後市立久美浜病院 (病院施設番号: 031726)		京都府	丹後		医療法人 山根医院 (病院施設番号: 066273)		
				京都府	中丹		福知会みまじヶ丘病院 (病院施設番号: 031727)		京都府	丹後		今出クリニック (病院施設番号: 066274)		
				京都府	中丹		市立福知山市民病院 (病院施設番号: 031728)		京都府	丹後		西原医院 (病院施設番号: 066269)		
							(病院施設番号:)		沖縄県	宮古		伊良部診療所 (病院施設番号: 066846)		
							(病院施設番号:)		京都府	丹後		宮津市由良診療所 (病院施設番号: 097049)		
							(病院施設番号:)		京都府	丹後		医療法人 南都六重会 須川 医院 (病院施設番号: 097050)		
							(病院施設番号:)		京都府	丹後		やまぞえこどもクリニック (病院施設番号: 097053)		
							(病院施設番号:)		京都府	丹後		宮津訪問看護ステーション (病院施設番号: 097054)		
							(病院施設番号:)		京都府	丹後		天の橋立訪問看護ステーション (病院施設番号: 097055)		
							(病院施設番号:)		京都府	丹後		訪問看護ステーションくら ら (病院施設番号: 097056)		
							(病院施設番号:)		長崎県	西海市		小値賀町国民健康保険診療所 (病院施設番号: 076679)		

基幹型又は地域密着型病院				協力型病院				臨床研修協力施設				研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・ 削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・ 削除	名称	新規	名称	定員
							(病院施設番号:)		京都府			伊根町国民健康保険伊根診療所 (病院施設番号: 147568)			
							(病院施設番号:)		京都府			いとうクリニック (病院施設番号: 147569)			
							(病院施設番号:)		京都府			写新野町立国民健康保険診療所 (病院施設番号:168259)			
							(病院施設番号:)		京都府			伊根町国民健康保険ステーション (病院施設番号: 168388)			
							(病院施設番号:)		京都府			特別養護老人ホーム長寿苑 (病院施設番号:168389)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

・ 都市部や、離島など京都府立医科大学附属北部医療センター以外の環境での臨床についても学びたいという研修医の要望に対応するため。
・ 舞鶴医療センター、舞鶴共済病院等の中丹医療圏の公的病院との間では、研修・研究医療機器の共同利用等に関する協定を結び合同研修会を開催するなど、連携強化を図っているところであり臨床研修においても協力体制を強化する必要があるため。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に記入すること。
- ※ 病院群を構成するすべての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。